

白友会会報

— 会報12号担当者 —

平成23年3月

森山幸子



会長あいさつ

白友会会長 神谷美佐子

平成23年度辛卯（かのとう）の年を迎え、茂る草木から新たな世代が生まれようとしています。同窓会の皆様は如何お過ごしでしょうか。

平素は、母校の同窓会運営・活動にご支援を賜りありがとうございます。

さて、今度3月11日に発生しました東日本における大規模地震（M. 9.0）によりご被害をうけられました皆様には心よりお見舞い申し上げます。私たち看護職は、神戸・淡路大震災から学んだ医療従事者としての教訓を生かし、支援の輪が広がり一日も早い復興を願っております。

少子高齢社会・疾病構造の変化・医療の高度化・チーム医療の推進など私たち看護を取り巻く環境も大きく変化する中で、今回のような災害看護の重要性は極めて高く、幅広い領域での看護職者に求められる能力や需要が増大しています。

このような中、昨年は保助看法が60年ぶりに改正され、看護師国家試験受験資格の中に大学において看護師になるのに必要な学科を修めて卒業した者の明記がされました。次いで保健師・助産師教育の修業年限を1年以上に延長すること、さらに新卒看護師の卒後臨床研修が努力義務化されました。まさに新たな看護の時代を迎えようとしています。

母校大阪医科大学附属看護専門学校も社会背景の変化に伴い看護師教育課程の変遷を経て参りました。これまで先人の皆様のご活躍とご指導のもと看護の本質が受け継がれる教育が実践されてきました。これもひとえに大阪医科大学附属病院の臨床看護との連携の賜物と感謝しております。

また、看護基礎教育の発展として平成22年4月より大阪医科大学看護学部が開設され、看護専門学校の学生と学舎を共にしています。看護専門学校は平成22年度より学生募集を停止し、現在の在校生が全員卒業しますと閉校となります。今後の同窓会運営・活動につきましては、会員の皆様方のご理解とご協力が是非とも必要となります。詳細につきましては役員会よりのお知らせにてご報告いたしますのでよろしくご願ひ申し上げます。

最後になりましたが皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

白友会活動状況報告

白友会役員会報告

1. 白友会会報の発行

平成21年度 会報11号発行

発送総数：1987通（附属病院内：477通・院外1439通）卒業生71通

返送数：44通（住所不明）

2. 母校教育活動への協力

祝電：看護専門学校卒業式

3. 役員会の開催

平成22年8月3日開催

議題：

- ①会報11号発送状況について
- ②白友会入会状況及び会報返送者数について
- ③白友会運営について
- ④会報12号発行計画について

平成23年2月1日開催

議題：

- ①会報12号発刊について
- ②白友会運営について
 - ・白友会入会状況一覧
 - ・白友会事業計画（案）

会計報告

平成22年度（平成22年4月～平成23年3月まで）

1 収入の部

項目	金額	備考
会費	300,000	卒業生：(看護学科 30名)
利息	1,409	
雑費	24,180	勢川先生お別れ会より寄付
繰越金	4,222,119	21年度
合計	4,547,708	

2 支出の部

項目	金額	備考
事業費	109,360	会報11号発送
会議費	0	
管理費	0	
予備費	21,000	勢川先生お別れ会供花
合計	130,360	
繰越金	4,417,348	

白友会役員会よりのお知らせ **必ずご一読下さい**

昭和4年大阪高等医学専門学校附属看護婦学校として開設以来、大阪医科大学の発展と共に看護師教育が行われてきました。今日までに母校の教育・発展に多大な貢献と導いていただきました先人の皆様および白友会会員の皆様には厚くお礼申し上げます。平成8年6月白友会設立は卒業生の母校に注ぐ力の結集として実を結ぶことができました。現在の急速な少子・高齢社会は医療や看護に対する大きな変革が求められ、今まで以上に看護に対する課題も山積しております。このような状況の中、看護基礎教育の発展として、平成22年4月より大阪医科大学看護学部が開学いたしました。

看護専門学校は現在の在校生が全員卒業予定の平成24年3月には閉校を迎えることになり、新たな卒業生の加入が無くなります。会員数の減少は新たな収入を見込むことが出来ません。また、これまで白友会事務局の役割は看護専門学校の教員が全面的に行い、名簿の管理をはじめ、会報の作成および発送・返送者の追跡確認・住所変更や会員の皆様からの問い合わせ等かなりの手間を割いてきました。閉校するにあたりこれらの運営・役割について会員の皆様のご協力なくしては存続することが厳しい状況にあります。大学の法人にも現状の説明を行いながら、今後の方向性についてご支援をして頂けるよう交渉を重ねております。会員の皆様にはこれまで検討を行ってきました経過と今後の白友会運営のあり方について、平成23年5月に「白友会の運営のあり方」についてご意見を頂く文書をお送りする予定です。会員の皆様のご支援・ご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。

クラス会報告

永遠の絆

三年課程全日制 昭和63年度卒業 3回生 守本 俊子

“3回生の埋蔵金があるから、同窓会をして使いきろう!!” 今回の同窓会は、卒業時に残っていたクラス費を22年間持ち続けてくれたクラスメートの呼びかけがきっかけで、5年ぶりに高槻で開催されることになりました。幹事は、いつもクラスを取りまとめてくれる徳島県在住のIさん。…同窓会の日程は聞いていたものの連絡がなく大丈夫かと心配していたところ、9日前に出欠確認メールが届きました。当日、誰が出席するのかも知らないまま、ただ何年かぶりに会える旧友との再会を心待ちにする日々を過ごしました。

さて、当日の夕刻…阪急高槻市駅前も少し見ない間に様変わりしたなあ～と感じながら同窓会会場へと足を運びました。「本当に久しぶりやね～。元気だった??」今回は看護学校卒業後全く会っていなかった旧友との再会もあり、それを喜ぶあまりなかなか会が始められない程でした。私達3回生はクラスの人数が29名と少なく、コンパクトで何をするにもこじんまりと一致団結してやってきたクラスでしたが、今回は29名中17名もの参加があり同窓会会場は、22～23年前にタイムスリップして…大賑わいでした。それぞれの近況報告をしたり家族や子どもの相談、仕事上の愚痴など等、…何といたっても当時の寮生活や学校生活の話、恋愛話は会場が壊れるのではないかと思うほど大爆笑となっていました。会席料理を堪能するというよりも話に夢中になっていて、お料理は何を食べたのかも覚えていない状況で…とにかく、あちらこちらから笑い声が飛び交っていました。

あっという間に時間が過ぎ、まだまだ話し足りない私達…次はカラオケボックスの一室で尽きることのない話を延々と続けました。子どもが待っているから～、終電車がなくなるから～と途中で帰宅した人もいましたが、最後まで皆との楽しい時間を過ごしていろんな話を聞いてもらった私は、最終電車にも乗れずタクシーで帰宅することになってしまいました×××。毎日、仕事と育児と家事で全く余裕なく過ごしていますが、この日だけは同窓生のみならず癒しをもらい…心が満たされ充足感で一杯でした。

年月は経っても、大阪医科大学附属看護専門学校で看護を学び、その苦楽を共にした友人との絆は永遠なのだと感じました。身体的な変化は否めませんが、一人ひとりの話し方や性格、また応答の仕方も全く変わっていませんでした…。今回出席できなかった人も含めて、3回生は皆が看護のライセンスを活かして働いており、専業主婦をしている人は誰一人としていないと聞きます。“私たちは貧乏人ばかりやからなあ～。貧乏、暇なしやで～” これからもそれぞれの目標を失うことなく頑張り続けることを誓い合い、次の同窓会の約束もして幕を閉じました。同窓生の皆さん…、楽しいひと時をありがとう！



☆ 第5回学校祭・白友祭 ☆ 平成22年5月8日

学生は2・3学年となり、模擬店などおおわらわとなっていました。

講演会は『ハーモニカ演奏 木谷悦子氏』を迎えその魅力的な音色を満喫しました。

いつも人気の健康コーナー、ちびっ子コーナーでは、今年も元気な子どもたちに会うことができました。



病院近況報告

トピックスⅠ. 「病院機能評価」無事更新

昨年の会報でお知らせしておりました通り、病院に対する信頼と質の検証のための第三者評価機関である「財団法人日本医療機能評価機構」から、7月25日「病院機能評価」の更新を受けました。5年前に受審し今回はバージョンを上げての受審でしたが、看護部は全員参画で計画的に取り組み、無事に終わることができました。

認定書は病院正面玄関の総合案内に掲げてあります。お越しの際はご覧下さい。



トピックスⅡ. 高槻祭り踊り連・高槻ウェーブ参加

高槻市の真夏の一大イベント「市民フェスタ高槻まつり」が8月7日(土)・8日(日)の両日に市役所周辺で開催されました。地域との交流の輪を広げるために、大阪医科大学は今年で4回目の参加となりました。大阪医大の青色ハッピーに加えて、それぞれの個性に合わせた浴衣に着飾った看護部連の数は120名ともなり、艶やかさは他のどの連よりも光っていました。翌日の高槻ウェーブでも、ハードな練習を重ねたダンスの経験者たちがプロ顔負けの実力を披露し、会場を沸かせていました。



トピックスⅢ. 院内コンサートに看護部吹奏楽・合唱初出場

9月25日土曜日 初秋の昼下がり、病院外来ホールを開放して、今年も院内コンサートが行われました。本学グリークラブ、室内管弦楽部、糖尿病代謝・内分泌内科、そして、看護部の吹奏楽・合唱の経験者達が勤務の合間をぬって練習を積み重ね、今年は初の看護部からの白衣姿でのデビューとなりました。入院中の患者様は持続点滴のスタンドを押しながら・・・中にはストレッチャーでご参加の方もおられ、とても喜んでいただきました。最終曲の「ふるさと」では全員での大合唱となり、楽しいひと時を過ごしていただきました。



— ようこそ先輩 — 第7回 平成22年10月13日



「今、訪問看護師として思うこと・・・」

東和会訪問看護ステーション所長 井上 朋美 (看護学校二年課程18回生)

今回は、訪問看護師としてケアをしてきた先輩の話聴き、改めて看護師の活動は病院だけではないと強く感じた時間でした。お話の間中、映し出された利用者の方々笑顔がとても印象的で、「看護する」と言うことがこれなんだと思えました。いいお話を伺い感謝しています。

☆ クリスマスコンサート ☆ 平成22年12月20日



とっても寒い日でしたが、会場はとってもあったかな笑顔が溢れていました。人懐っこいトナカイ?とスリムなサンタさん?が遊んでくれたり、看護学生の歌と演奏があったり楽しいひと時を盛り上げてくれました。

地域の皆さんも大勢参加され、学生達のミニミニ劇も沢山の拍手をいただきました。

